



鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和3年1月5日

第9号

語り継ぎたい『埼玉の偉人』

～3年生『書きぞめ』から～
校 長 服部幸司

令和になって2回目の冬、2021年1月1日朝、鴻巣西中の屋上から初日の出を拝むことができました。土手には多くの方々が手足も凍る寒さの中、東にご来光を仰ぎ、南西には遠い秩父嶺と富士山を仰いでいます。

新年、3年生の教室には書き初め『埼玉の偉人』が掲示され始めています。

3年生に「埼玉の偉人を3人挙げろ、と言われたら誰かな」と聞くと、どの生徒も間髪入れずに答えるのが「渋沢栄一」です。しかし、続きが出てきません。2021.1.1朝 本校屋上からの初日の出
生徒「えーっと、えーっと、北里柴三郎！」

校長「いやいや、それは新千円札でしょ。日本初の女医さんは？」

生徒「えっ、そんな凄い人が埼玉県出身なんですか。」

校長「そうだよ、現在の熊谷市出身の人だよ。」

生徒「校長先生、渋沢栄一さんも深谷市出身ですよ。北の方ばかりではないですか。」校長「そうだね。日本初の女医さんは『荻野吟子』、もう一人は、現在の本庄市出身の盲目の国学者『塙保己一』だよ。」

生徒「あっ、『郷土かるた』で覚えたな。思い出してきた…」

今の中学生の頭の中には、各紙幣が一新されることはある程度インプットされているものの、『埼玉の偉人』という言い方には慣れておらず、問われたことも少なかったようです。そういう意味では、小学校時代に学んだ「さいたま郷土かるた(1982年11月発行)」「彩の国21世紀郷土かるた(2002年3月発行)」の果たした役割は改めて大きいものだと感じます。



3年生書きぞめ「埼玉の偉人」於いて武道場

お…荻野吟子 日本初の女医 第一号
に…日本の 産業育てた 渋沢翁
み…見えずとも 心で学ぶ 塙保己一

「荻野吟子はね、十代で結婚後、夫から淋病という性病をうつされ生死をさまよう病状、入院中に耐え難い精神的な苦痛を受け、女医の必要性を痛感し、女の人が医師になることなど考えられない時代に、医師の道を志した人なんだよ。」等、埼玉の偉人について 自分自身の思いを込めながら子どもたちに語り継ぎたいものです。